

西武新宿線（野方駅から井荻駅間）の連続立体交差化について

1 これまでの経過

中野区北部を東西に横断している西武新宿線は、区内に5つの駅を擁し、重要な交通手段となっているが、20か所の踏切があり、朝夕ラッシュ時に開かずの踏切となり問題となっている。

こうした中、東京都は中井駅から野方駅間について、平成25年度から連続立体交差事業に着手し、また、野方駅から井荻駅付近について、平成29年度に国から着工準備採択を受け、構造形式や施工方法の検討を進めており、過年度実施した調査において、野方駅直近の野方第1号踏切は残存することとしている。

2 今年度の取組

区は、野方駅から井荻駅付近について、早期に計画の具体化を図るため、今年度、令和6年8月に西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟決起大会を開催し、関係機関と意見交換を行い、野方第1号踏切の除却を含めた鉄道の立体化について積極的に取り組んでいく旨を決議し、同日、東京都へ要請した。

また、10月には都知事との意見交換会において、区長自らが早期事業化について鉄道事業者への働きかけなどより一層の協力を要望した。

こうした中、野方第1号踏切の除却に向けて、今般、10月に中野区と西武鉄道株式会社が協定を締結した。

今後も引き続き、東京都及び西武鉄道株式会社と連携・協力しながら、野方第1号踏切の除却を含めた野方駅から井荻駅付近の鉄道立体化について取り組んでいく。

令和6年	8月	西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟決起大会を開催 東京都へ要請活動
	10月	都知事との意見交換会 西武鉄道株式会社と協定締結
	11月	西武鉄道株式会社へ要請活動
	12月	国土交通省へ要請活動